



山麓坂本の春、日吉馬場から里坊前の満開の桜と伝教大師が崇敬された八王子山を仰ぐ



発行所
比叡山時報社
〒520-0116 大津市坂本本町4220
郵便番号 520-0116
電話 077-578-0001
振替 00970-2-9732
宗教法人延暦寺事務所
定価 1部110円 年1200円

延暦寺広報

叡山講福聚教会
会報
年会費(3000円)中
に会報(比叡山時報)
購読料を含む。

令和5年比叡山から
発信する言葉
眞心
眞の心を開き発す



日々研鑽して己を磨く

全国的に暖かな陽気に包まれる四月を迎えました。近年の温暖化の影響もあってか、比叡山上では、この時期当たり前だった残雪も殆ど目にする事が無くなりました。一方で山麓の日吉大社では、白い浄衣姿の回峰行者が参道で祈りを捧げる姿を見かけるようになり、その変わらない光景で比叡山に四月が訪れたことを実感します。そして四月と言えばもう一つ、比叡山では、毎年四月四日から十一日までの間、天皇陛下の御衣を奉安して供養する最重要法儀「御修法」を厳修し、一年間の「国家安穩」、「世界平和」を祈ります。

世界へと視野を広げれば、各地で勃発する戦争、自然災害、コロナ感染など、様々な災難が人々を怯えさせ、これらから聞こえる種々の情報は、本質をよそにお互いの正義をぶつけ合い、人々の精神の混乱を招いています。人々は何の為に生きているのか、どう生きれば良いのか、分からなくなっている状況です。

儒教の経書の一つ『大学』には「修身齊家治國平天下」と書かれています。これは「先ずは、修身、己を修めよ」と、自分を磨くことの重要性を説くものです。宗祖伝教大師も『願文』で誓いを立てられて比叡山にお籠りになり、山修山学をもって己を磨くことに努められました。

我々は、日々の生活における忙しさと面倒臭さを理由に、己を磨くこと、学ぶことを怠り、挙句、本質を見極めて伝えることまで放棄しているのではないのでしょうか。そのことが様々な混乱を招いていると、改めて猛省する時期に来ているのではないのでしょうか。

現代社会の混迷は実に耐え難いものであり、悪夢と言っても過言ではないのかもしれません。そんな日々のなかで自己研鑽に努めることはもちろんですが、時には気分を転換し、爽やかな日の光と空気の中で深く呼吸をして、野に山に健やかに過ごすことも必要ではないかと思えます。我々も皆さまに寄り添い共に歩めるよう、日々仏道修行に研鑽し祈りを捧げてまいります。



天台宗祖師先徳鑽仰大法会

比叡金山で総結願奉告法要を厳修

大法会の円成に根本中堂が法悦で湧く 震災、コロナ禍乗り越え五十年後に繋ぐ不変のみ教え

平成24年春に閉關した天台宗祖師先徳鑽仰大法会が、慈覺大師一千五十年御遠忌、恵心僧都一千御遠忌並びに伝教大師御生誕一千二百五十年、相応和尚一千百年御遠忌、そして伝教大師一千二百大遠忌の円成を経て、ついに5月16日、総結願奉告法要を迎えた。今特集では午前中、根本中堂で奉修された四箇法要を始め、午後から東塔・西塔・横川の三塔を代表する堂舎で同時刻に修された法要の様子を報告する。



緊張感高まる静寂の根本中堂内陣で御本尊の薬師如来と不滅の法燈を前に、11年間の様々な想いを込め法要を勤められる座主現下(中央)。左右は全国より参じた出仕僧侶



それぞれの想いを胸に参列する



水尾執行



最高の儀式服袍裳七條をまとった絢爛豪華な出仕僧の行列に参列者も合掌を捧げる



挨拶する阿部総長



法要後には比叡山親善大使森友風士氏により、大法会イメージソング「雨上がりに咲く虹のよう」が歌唱奉納された



円成を慶ぶ参列者

根本中堂で法要始まる

天も祝福するかのよう、法要が、根本中堂で午前10時30分、四箇法要をもつて厳修された。3月16日、天台宗祖師先徳鑽仰大法会総結願奉告法要は、大樹孝登天台座主現下を大導師に、各教区事務所長、延暦寺一山住持38名が宗を代表して出仕、宗内外の諸大徳を始め伝教大師最澄1200年魅力交流委員会の委員や各所から約200名の関係者が随喜するなか奉修された。出仕僧は、延暦寺大書院を出発し、約10分を駆け根本中堂まで行道した。

三塔全山で午後2時から一斉に法要奉修

宗内諸団体が出仕し報恩の誠捧げる

東塔地域を代表する堂(六太寺任職)が会行事を舎である大講堂では、金一勤め、天台宗布教師会の子藤秀布教師会会長(東委員約40名が出仕して法要が奉修された。京教区永安寺任職)を導師、要が奉修された。師に六穂仁師(京都・法要では「妙法蓮華」を捧げた。



釈迦堂・天台宗宗議会議

西塔地域の本堂である「迎寺任職」が会行事を勤釈迦堂(釈迦堂)では、天台宗宗議会議の議員細野舜海宗議会議長(南約30名が出仕して法要が総・觀明寺任職)を導師、奉修された。法要では「妙法蓮華」を勤めた。



横川中堂・天台仏青連盟

横川地域の本堂である「会行事を勤め、天台仏教横川中堂では、角本尚隆「青年連盟の会員約40名が代表(九州西・長壽寺任職)出仕して法要が奉修された。宗祖のみ教えと御遺志をのちの仏の御世まで伝えたい」と決意された。



次の大遠忌までの道のりを自ら中心となるべく研鑽するべく決意された。